

一年生進路だより

石山高校進路課通信

第4号 2019.3.22 発行



寒さも和らぎ、日差しも少しずつ春めいてきました。春休みを明日に控え、ウキウキとした気分にいる人も多いのではないのでしょうか。

さて、石山高校での第一学年も今日が最後。次に登校するときには、皆さんは二年生に進級しています。学年末の今こそこの一年を振り返ってみましょう。この一年はどうでしたか？良かった面、改善すべき面を自分で分析し、明日からの生活や学習に活かしていきましょう。

☆ 進路講演会

3月19日に河合塾の米原篤志さんをお招きして、進路説明会を実施しました。

志望大学を考えるうえで重視すべきポイントや、新たに変わっていく入試制度についてなど、様々なお話を聞くことができました。

皆さんが三年生の時には「センター試験」に替わり、新しい「大学入学共通テスト」が実施されます。先輩たちとは入試の仕組みが違うわけですから、今回の進路説明会のような機会を特に大切にして情報収集に努めましょう。



また、もう二年生になるわけですから、大学受験はそれほど先のことではありません。自分がどのようなことを学びたいのか、どういった大学、学部に進みたいのかを自ら行動を起こして考えていきましょう。進路室にも資料がありますし、担任の先生や進路室に相談に来てくれても構いません。春休みに大学の説明会に行くのもよいでしょう。自分の目標が決まると、勉強の意欲も上がっていきますよ。

COLUMN

『大学の實力2018』中央公論社より



大学で学ぶために、本や新聞を読む習慣を身につけてきて——。

大学の学部長や副学長ら教学の責任者に、高校生時代に身につけておいてほしい「基本的生活習慣」を尋ねたところ、最多は「読書習慣」（北海道大、筑波大、お茶の水女子大など）「新聞を毎日読む」（早稲田大、神戸大、新潟大など）といった、「読」を含んだ回答だった。その数は全学部の16%にあたる述べ378学部。国公立私立大学ともに最も多い記述だった。これまでの調査でも、学長や学部長は「学生が本や新聞を読まない」「そのため書く力も落ちている」とコメントしていた。学生の読む力の欠如は依然として大きな課題となっているようだ。

今年、三年生の入試添削の指導をしていた先生からも、「小論文の指導をしても、やはり読書習慣や時事ニュースへの関心があるかで差が出る」との声がありました。この春休みにあなたもぜひ読書をしてみてはいかがでしょうか。

（また「大学の實力2019」では大学の退学者や資格取得についての特集もありました。関心のある人は進路課に書籍がありますので、また見に来てください。）

☆ 今年度卒業生の進路状況（裏面参照）

※主に前期入試までの結果のみ。決定版は4月に掲載予定です。



裏面に、今年度の三年生の進路状況を書きました。「高きを上げ」のキャッチフレーズを胸に、今年度の三年生や昨年までの卒業生も夢の実現に向けて頑張っています。今は、後期入試まで粘って受験した先輩たちの合否結果が続々と報告されているところです。

先輩たちがどのような大学を受験しているのかを見てみましょう。そして、二年後の自分の姿を想像して、今から少しずつ準備をしていきましょう。

〈先輩たちの声〉

- 3年生になって受験勉強を始めた時、やらなくてはいけないことが多くてすごく焦りました。同時に、1年生や2年生の時にしっかり予習をしていなかったことを悔やみました。
- 勉強をほどほどにして部活を頑張るとか、部活をせずに勉強一本で頑張るとかはあまりお薦めしません。勉強も部活も一生懸命取り組むことで学べることもあります。いろんなことに挑戦してください。
- 予習は確実に。休み時間はしっかり息抜きして、授業は全力で集中する。がんばりすぎずがんばれ～！

2年生の主な進路関係行事（予定）

～ 先を見据えて、充実した一年にしていこう！

《一学期》

- 4月 進路希望調査・学習アンケート / 教育課程説明会
- 5月 受験科目調べ
- 6月 校外模試 / 選択科目調査
- 7月 進路説明会

《二学期》

- 10月 学部学科説明会
- 11月 校外模試
- 12月 小論文学習

《三学期》

- 1月 校外模試
- 3月 進路説明会 / 校外模試

